

心の安定や安心をもたらすために たわいもない会話

「成果の出せるチームと出せないチームの差はたった一つ、心理的安全性が確保されているか否かだ」6年前、世界が人工知能（AI）時代に向けての技術開発が活発化する中、米国グーグル社が社内調査の結果を公表した衝撃的な提言です。

心理的安全性とは、「なんでもないちょっとしたことをしゃべれる安心感」のことです。

この提言から企業価値（成長）を創るためにはたわいもない会話が必要ということになります。

私たちのコロナ禍以降の生活を振り返ってみると、この世からたわいもない話が消えるとともに、ハラスメントや不登校、若者の自殺が増えています。

学校現場においては、教師が授業中や部活動のミーティングなどでたわいもない話（授業内容に関連する小話、教師の個人的な経験談など）をすることは生徒の興味を引き出し、教師と生徒の心理的な距離を縮める潤滑油でした。

～タダコメ～

教職に就いていたとき、日々の授業の準備（教材研究）の他に授業中に話す雑談や時事問題など何気ない話などを考えていました。授業の導入で生徒を笑顔にするためのネタを考えるのが楽しく、生徒との何気ないやりとりは教室に明るい雰囲気をもたらせていると考えていました。

今は先生が雑談するにも気を遣う時代になっています。子どもたちとの距離感が大切です。

何気ないあいさつ

人と初めて会うときに交わすあいさつは、その後の関係の土台を築く一歩です。毎日交わす「おはようございます」の一言。何気ないこのあいさつが、実は人間関係に大きな影響を与えています。

米国の学校での研究では、教員が入室時に生徒へ個別に声をかけるあいさつを行うと、集中して取り組む時間が平均45%から72%に上昇したという報告がありました。

元気なあいさつは、相手に「安心できる人だ」と感じさせて警戒心を和らげます。日常的にきちんとあいさつを交わす人は「信頼できる」「誠実だ」と評価されやすくなります。笑顔を添えたあいさつは「あなたと良い関係を築きたい」という意思表示でもあります。

新型コロナウイルスの流行で、人との接触は長く制限されました。マスク越しでは表情が見えにくく、声をかけることにもためらいが生まれました。その経験を経た今こそ、改めてあいさつの重要性を再認識し、あいさつや感謝のことばを大切にしたいです。

たった一言の「おはよう」や「ありがとう」が、誰かの心を温かくし、社会を少し優しく変えていきます。今日も明日も、目を見て、笑顔で言葉を交わしてみましょう。

～タダコメ～

イオン今市店近くの並木大橋交差点で登校する中学生、高校生の見守り活動を実施していた1月23日朝、気温はマイナス6度でした。この場所に居るのは辛いと感じた時、今市中学校の自転車通学生徒の大きな「おはようございます」の声が心に響き、元気が出て、「がんばれ」と励まされた気持ちになりました。

日光市少年指導委員の活動

☆街頭指導（令和8年1月・2月）

1月20日（火）16時～今市9班（小林）の街頭指導
出発前のミーティングの様子です。極寒の中、4人の委員
は献身的に地域の巡回を実施しました。

1月22日（木）19時～藤原2班4名と藤原派出所
警察官2名の6名で藤原地域の夜間巡回指導を実施しま
した。地域の防犯対策も担っています。

2月 7日（金）15時～栗山・湯西川班2名、湯西川地区内巡回実施。

2月11日（水）11時～今市1班、15時～今市2班・3班 計9名が今市の花市巡回実施。



☆分散型研修 1月26日今市中学校『薬物乱用防止演劇』[劇団三十六計]



この研修には、少年指導委員4名、少年指導センター職員1名が参加しました。委員の感想は、
今市中学校全生徒が真剣に鑑賞していたことは素晴らしい、劇団の皆様の演技力で「薬物の怖さ」
を理解し、絶対に使用しない決意を持つことができたことでしょう。

おめでとうございます

【栃木県青少年育成指導員功労者表彰】

石川茂 様 齊藤佳子 様

【日光市教育委員会永年勤続（8年）表彰】

大橋彰 様 岩崎幸一 様 柴田清光 様 田代美由紀 様

